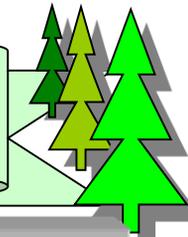


街路樹



「所長挨拶」



昨年示された中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて」の審議まとめにおいて、「令和の日本型学校教育」の実現を担う教師の姿とは、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、探究心を持ち、自律的かつ継続的に学び続け、子どもたち一人一人の学びを最大限に引き出す役割を果たすとされています。また、時代の変化に対応し、求められる知識技能が変わっていくことへの意識化にも触れており、改めて、教師に寄せられる期待と主体的に学び続けることの重要性を感じざるを得ません。

今年度の本センターの研修におきましては、ICT、発達障がい、小学校の外国語に係る講座等を拡充するとともに、すべての基本研修において全体研修の場をもつことといたしました。これまでの自身の学びを振り返り「現在の姿」を自覚し、自らが置かれた状況に照らしてどのような学びが必要であるか、1年、5年、10年先の「将来の姿」を具体的に意識することで、自律的な学びとなるよう研修を計画いたしました。

また答申の中では、教員免許更新制度の発展的な解消を踏まえ、管理職が、学びの資源(時間・意欲等)の確保を促進し、学びを深めることができる環境づくりに努める必要性についても強調されています。管理職の先生方とともに、先生方の、そして子どもたちのこれからの学びを支えられるよう、センター職員一同努力して参ります。

今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

「今年度の教職員研修について」

令和3年度の研修もコロナ禍の影響により、実施方法の変更や中止となった研修・講座が77(全講座の42%)にのぼり、参加された先生方にとっては、満足のいく研修とはならなかったものもあったかと思えます。令和4年度においても、同じような状況の中での研修となることも想定されますので、前年度の反省点を生かし、コロナ禍であっても充実した研修となるよう、努めて参ります。

令和4年度の研修については、次の4点を重点として研修を実施して参ります。

- ①学習指導要領の具現化と教育課題解決に向けた研修の充実
- ②校長・教員の資質向上に関する指標(第2版)を踏まえた研修の工夫・改善
- ③教職員のキャリアアップを図るための研修の充実
- ④学校の組織力強化に資するための研修の充実

今年度の研修は、4月6日(水)のALT研修から始まり、コロナ禍の影響により、オンライン研修に変更して実施した研修もありますが、基本的には集合研修で実施していく予定です。

今年度、研修内容を拡充した研修として、「発達障がい教育講座」があります。特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にある中、児童生徒への適切な支援の在り方を学ぶことは大変重要なことと捉え、2日間で合計12時間の研修を実施します。また、ICT機器の積極的な活用を図るための講座として、「ICTスキルアップセミナー」を新設し、45分の講座を5回、オンラインで実施します。その他、より専門的な研修とするために、大学教授等を招聘し研修を実施します。

おもな外部講師は次のとおりです。

| | |
|---------|-------------|
| 百瀬 美帆 氏 | 明海大学教授 |
| 細水 保宏 氏 | 明星小学校長 |
| 鬼澤 秀昌 氏 | おにざわ法律事務所代表 |
| 三田地真実 氏 | 星槎大学大学院教授 |
| 木村 泰子 氏 | 元大阪市立大空小学校長 |



「教育支援室の活用について」

教育支援室では、教育相談、不登校対策、家庭支援、特別支援教育関係の4つの業務に取り組んでいます。今年度は、次の4つの支援を特に充実させて参ります。

1 地域資源のつながりを生かした支援の充実

地域資源を生かせるようにするため、指導主事による関係機関訪問や定期的な打合せを実施し、関係機関との情報共有を行ってきました。今年度は定期的な打合せの他、ケース会議等を実施し、共有した情報を学校支援や相談支援に積極的に生かしていきたいと考えています。

2 特別支援学級等担当教員への支援の充実

今年度も、小・中学校の特別支援学級数と在籍者数ともに増加しました。管理職、特別支援学校、関係機関等との連携を図り、さらに特別支援学級等担当教員への支援を充実させるため、学校支援や特別支援学級等新任担当教員サポート訪問を行っていききたいと考えています。

3 教員の相談スキルの向上と学校の相談体制構築に向けた支援の充実

児童生徒に最も近い立場にある学校が、継続的に丁寧な教育相談を行うことで、児童生徒、保護者とのよりよい関係作りやよりよい支援につながると考えます。そこで、教育相談に係るセンターでの研修、ケース会議の実施における学校支援、教育相談やケース会議に係る校内研修への支援等で、教員の相談スキルの向上と学校の相談体制構築の支援の充実を図りたいと考えています。

4 特別支援教育アドバイザーによる管理職への支援

校内の特別支援教育に係る課題と校内支援体制構築の課題についての管理職の困りごとに対応するため、今年度、特別支援教育アドバイザーを配置しました。特別支援教育アドバイザーが指導主事やスクールカウンセラーとチームとなって支援することも可能です。

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応え、全ての児童生徒がよりよい学校生活を送れるよう、学校支援に努めて参りますので、ぜひ教育支援室をご活用ください。